

あゝの時代 この時代

その27 『キャラバン ニセコへ行こう』 昭和38年 9月28日



秋の情景への移ろいを感じながら、美術館まで散策しましょう。
お待ちしております。

常設展示（第1展示室） 小川原脩生誕100年記念「小川原脩 自伝風な展覧会—チベットその聖と俗—」

70歳になって訪れたチベットで、小川原はこれまで考えてもみなかった宗教というものに心を洗われたようです。心暖まる描き方に変容した瞬間でした。チベットの風俗や風景を描いた作品の展覧会です。会期：8月25日（木）～10月2日（日）

企画展示（第2展示室）「第53回麓彩会展」

昭和38年公民館から始まった展覧会は53年目を迎えました。創立メンバーの野本醇、穂井田日出磨、さらに谷口一芳、徳丸滋ら15名の作家たちの作品を展示しております。

「2011造形展・風の中の展覧会Ⅷ」

毎年、この時期になると野外にはさまざまな素材のさまざまなカタチの作品が現れます。8回目を迎えました「風の中の展覧会」、風景の中で存在感のある作品との出会いを・・・

会期：8月29日（月）～9月30日（金）

ふる探訪
さと
342回

循環準急行、出発地札幌から倶知安經由室蘭、そして室蘭から札幌へとめぐる列車のことです。

函館本線→胆振線→室蘭本線という運行は北海道内でもめずらしかったそうです。循環準急、その名は「準急いぶり」で昭和37年10月の週末に限り運行しました。その後「準急いぶり」は昭和38年10月1日から上り、下り1日1回の「毎日運行」となりました。

この準急いぶりの毎日運行を記念したキャラバン隊は、この年の9月末にマイクロバスを仕立てて伊達、室蘭、苫小牧方面でニセコの観光を大いにPRしてきました。

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎ 21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎ 22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

**開館時間は9時～17時（入館は16時半）
9月の休館日6,13,20,27日**

—お知らせ—

「音楽とワインの夕べ」

小川原脩記念美術館友の会の主催行事です。静かな佇まいの中で楽しいひとときを。

日時：9月3日（土）午後6時から
作品鑑賞、18時30分から音楽とワインの夕べ

場所：小川原脩記念美術館ロビー

会費：友の会会員1,000円

非会員 1,300円

演奏：ギター演奏

嶋貫英則さん（倶知安町在住）

町長室から

9月に入り、朝晩はめっきり涼しくなりました。今年の夏は猛暑が続いたからでしょうか。あっという間に秋がやってきた気がします。

さて、8月に行われたじゃが祭り、例年の雨からは信じられないような快晴の下、盛会裏に行うことが出来ました。多くのスタッフの皆さんの苦勞や応援していただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。

また町では8月11日に、実に28年ぶりとなる「交通事故死ゼロ連続千日」を達成しました。引き続き交通安全の意識を町ぐるみで高めていきたいと考えておりますので、町民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



福島世二